

## 2017年6月11日「いのちのフォーラム」アンケートのまとめ

会場で回収した480通のアンケートより次の5点に関して意見・感想をまとめました。

1. 全体的な感想
2. 印象に残ったシーンや言葉
3. 2部トークの感想
4. 大槌・釜石の出演者の皆さんからの感想
5. 演出・企画に関する感想

### 1. 全体的な感想

- ・山本孝史の生き方、思い、政治家としての姿勢については共感、感銘、感動の意見が多数。
- ・涙が止まりませんでした。
- ・両目で泣きました。
- ・心にしみる。
- ・愛を感じました。全体に。
- ・心がこもっていた。すべての部に。
- ・熱い思いが伝わりました。
- ・感動して身体が動きませんでした。
- ・人間や人生は素晴らしい！
- ・生きていく勇気をもたらった。
- ・夫を支えていく勇気をもたらった。
- ・前向きに観ることができた。
- ・全編を通してだれの命も大切というメッセージが伝わった。
- ・原点に戻った思い。
- ・語りもよく、トークもよく、コンサートもよかった。
- ・劇あり、トークあり、歌あり、感動しました。
- ・1部、2部、フィナーレの全部が印象的、感動的。
- ・一部、演出すばらしかったです。二部、素晴らしいお話。三部、感動いたしました！！！！
- ・朗読劇、二人（田中健さん、市毛さん）とも感動しました。トークもよかった、司会も良かったです。演奏も……。飽きさせないステージでした。
- ・学生でもわかりにくいところがなかった。
  
- ・朗読劇に魅せられました。オーケストラの演奏も良かったです。
- ・朗読劇が想像していたよりも素晴らしかった。音楽や映像がとても効果的だった。

- ・朗読劇を初めてみた。なかなか訴えるものがあった。
  - ・朗読を多くの人の声で適切に演出されとても説得力があった
  - ・朗読劇は初めてだったが、予想以上によかった。
  - ・出演者の方々の演技（朗読劇）がすばらしかったので引き込まれた。
  - ・劇がとてもわかりやすかった。
  - ・朗読劇に感情移入して楽しめた。
  - ・朗読劇だからこそ響くものがあったと思いました。
- ・田中健さんの力強い発生と市毛良枝さんの冷静な演技に胸をうたれた。山本孝史夫婦役の演技はすごいとしか云えず、実像そのものだった。
- ・音楽の力は大きい。
  - ・音楽が素晴らしく心地よかった。
  - ・最後を音楽で締めるのはよかった。
- ・東北の方たちの参加がすばらしい。
- ・舞台に多勢の少年少女がいた。
  - ・被災地の人たちとのつながりにもなった。
  - ・絆が感じられ、一体感がありました。
  - ・たくさんの方々の気持ちが伝わってきた。
  - ・多くの出演者が協力しているのがわかる。
  - ・「生きる力」が伝わってきた。
- ・山本孝史という人物を知り得た。
- ・命の大切さ・尊さを改めて考えさせられた。
  - ・会場に集まった方々が、山本孝史さんのバトンを受け取った方々と感じた。
  - ・バトンをつなぐことは大切なこと。
  - ・山本さんの影響を受け、山本さん亡きあとも、山本さんの思いを引き続き実現されている多くの方がいることを知り、感激した。
  - ・このような取り組みをしている人たちがいることを初めて知った。
  - ・このフォーラムをつくり、支えてきた人々の想いを知り、生きるエネルギーをもらった。
  - ・全体が押しつけがましくなく、それがスーッと心に入ってきた。皆様の気持ちが純粹だからですね。
  - ・すごくたくさんの方が集まり、関心がある人がこんなにもいることを知れてよかった。出演者の皆様のなんと誠実に表現されていたことか。

- ・多くの出演者、スタッフに感動した。
  - ・たくさんの方々のこの会にかける思いが強く伝わってきた。
  - ・がんのみならず、自死、被災地、さまざまな当事者がつながっていた。
  - ・どちらかと言えばなるべく見ないように、触れないように過ごしてしまいがちなテーマ（死）について、暗く辛い面だけでなく「生」を見つめて前を向いていこうという思いが伝わってきた。
  - ・当たり前にある命のことを考えさせられた貴重な時間でした。
  - ・これまであまり関心のない分野ですが、これを機に勉強してみたいと思います。
  - ・「これからの日本」を皆でどう生きていくかを考えられた。
  - ・改めてがん対策基本法、自殺対策基本法までの道のり。そしてその後のことを知ることができた。
  - ・法律、交通遺児問題など勉強になった。
- 
- ・こんなに実のある会は72年生きてきて初めてだったです！
  - ・今日の公演は、71才の私の人生を変えてしまうかもしれない。
  - ・自殺も考えたりしますが、生きていきたいと思いました。
  - ・孤独の中で命を終える寂しさ怖さが和らいで安心しました。

## 2. 印象に残ったシーンや言葉

- ・ランドセルが昇っていくシーン。
- ・光り輝いていくランドセルがすばらしい。
- ・兄のランドセルから想いを寄せるところ。
- ・兄さんとともに頑張られたところ。
- ・ランドセルを棺に入れたあたたかい話。
- ・山本さんがいのちと向き合うようになったランドセルが感動的。
- ・兄の回想シーン。
- ・子役（5才）のことばに涙。
- ・日記を読むシーン。
- ・国会での訴え。
- ・がんを告白し、涙ながらに訴えたところは自然に共感し涙した。
- ・救える命を救うという演説。
- ・政治家は命を守るのが仕事。
- ・がん対策基本法が反対0で可決されたところ。
- ・鬼気迫る仕事をされたこと。
- ・体験者が政治の場に必要。
- ・現場を知る人間が政治には必要。

- ・街頭演説
  - ・最後の選挙。素晴らしくよい顔でした。
  - ・弱い者を切り捨てる政治はよくない。
  - ・がん末期でも光り輝く人生があると言って実践された様子。
  - ・イチ・ニ、イチ・ニ — 7歳の娘にも印象に残った。
  - ・一日一生、一日一善、一日一仕事。
  - ・生きるとは普通に暮らすこと。
  - ・がんイコールリタイアではない。
  - ・がんになってもマイナスではなくプラスにして物事を考える。
  - ・長く生きたいとも思うけれど、どう生きるかを考えるようになった。
  - ・大病したからできないんじゃない。大病したからこそできる。
  - ・朝目が覚めると一日分の命をもらったと思うようになった。
  - ・「もっと仕事がしたい」の言葉。
- 
- ・法律は器
  - ・主体は現場
  - ・当事者が声を上げる。
  - ・政策は党のためではない。
  - ・児童扶養手当の延長。
  - ・超党派で法案が全会一致で成立した。
  - ・親がいなくてもみんなと違う。
  - ・君たちだからできる。
- 
- ・夫婦愛。
  - ・山本夫妻の各ショットシーン。
  - ・ゆきさんがメールで手紙を出した。山本さんが「一人で辛かっただろう」というセリフが最高に印象的。
  - ・誕生日でお祝いされているシーン。
  - ・人間は気球に乗っているようなもの（医師の言葉）。
  - ・田中健さんの泣きの演技。
- 
- ・フィナーレコンサート
  - ・前川弾さんの歌。
  - ・歌がすばらしかった。
  - ・与えられた命一つ一つに感謝した。
  - ・コーラス、ダンス、オーケストラ、歌手の方々。

- ・田中健さんのケーナ、歌「あなたがいるから」。
- ・田中健さんて歌もうまいんですね！
- 「ひょっこりひょうたん島」に元気もらいました。
- ・被災地の子どもたちが力強く踊っているシーン。
- ・キッズダンスの踊りー希望に満ちていた。
- ・自分一人ではない。仲間がいる。
- ・今生きていることに感謝。
- ・「ひょっこりひょうたん島」「命の花」「あなたがいるから」「花は咲く」、子供たちの踊り、涙、涙でした。

### 3. トーク

- ・村木さんの若者に希望を感じる。学ぼうというご発言。
- ・競争ではなく共生、共感が大事ということ。
- ・椅子取りゲームではなく助け合える社会。
- ・未来に希望を抱かせる内容だった。
- ・まるごと、わがこと。
- ・想像力が大切。
- ・一人の100歩よりも100人の一歩。
- ・尾辻先生の「いつも山本さんとけんかしていた。宿題を実現させたい」。
- ・今、山本さんが生きていてくれたら・・・。
- ・山本孝史さんと尾辻先生の党を越えてのおつきあい。
- ・左目で泣いて右目で笑う。
- ・誰も排除しない生きやすい社会を創ることの重要性。
- ・声を出さない人はいなかったことにしてきた。
- ・自殺を止めるのではなく、生きることの支援。
- ・誰も自殺に追い込まれることのない社会。
- ・人にとって生きやすい社会とは。
- ・弱者に冷たい政治は政治ではない。
- ・一緒に生きよう。
- ・いろいろな辛さを抱える人は弱い人ではない。
- ・皆、居場所があるということ。
- ・痛みを分かり合える社会。
- ・声を出せない、その声を拾うこと。
- ・再発する人、治療を諦めなければならない人がいる。
- ・絶望を味わった人が本当に希望を語れる。

#### 4、釜石・大槌の出演者の皆さんから（38人から回答をいただきました）

- ・とてもよかったに☸（花丸印）。
- ・あこがれの NHK ホールでの出演、最高でした。
- ・スタッフの方々の優しさがすごくよかった。
- ・自分たちが全般にエキストラに出演したこと。
- ・全体に参加した方が盛り上がり大変良かった。
- ・広い舞台にのったのは初めて。胸がときめきました。
- ・楽しく参加させていただきました。
- ・たくさんの人たちの力で1つの物語を創り上げる事の楽しさ、苦しさをまじかで見られました。
- ・舞台に立てたことで、朗読劇を直に、心に感じる事ができてとても感動いたしました。
- ・全部の場面に参加できたことが感謝です。舞台作りの裏側を知って大変な苦労があることがわかりました。

#### 5. 演出・企画について

- ・朗読劇一さりげない演出で深い印象が残った。
- ・朗読劇は映画より迫力があると思った。
- ・臨場感、リアル感があつた。
- ・オープンステージ。
- ・内容が充実していた。
- ・流れもよく、構成も good。
- ・3つの場面がうまく構成されていた。
- ・構成がすばらしい。涙がとまらなかった。
- ・プログラムの構成様式や内容の濃密さとバランスの良さ。
- ・後方の多くの人々の参加も自然な感じでよかった。
- ・バックに写真。思いが伝わる。
- ・スクリーンの写真に涙がこぼれた。
- ・照明、音響がよかった。
- ・朗読劇は初めて。スライドと一緒に分かり易かった。
- ・朗読劇の演出、音楽がよかった。
- ・思いのこもった企画だった。
- ・被災地とのコラボがよかった。
- ・朗読劇、音楽、キーパーソンの語り、ダンスなど多くのエンターテイメント要素を含みつつ、いのちのフォーラムの問題解決という大きなテーマが全体に流れる素晴らしい会でした。

- シンプルな構成だが、とても伝えたいことがまとまっていました。心のこもった脚本でした。たくさんの方が舞台が上がっていることが印象に残った。参加してよかった、この一言につきます。感謝の気持ちでいっぱいです。
- 事実をありのままに、そして、人として生きることの大切だと感じる事ができた。演出のすばらしさ、よかったです。
- 3部ともに大勢の出演者によるステージであたたかい構成でよかったです。エネルギーをいただいたような企画。
- 命につながる問題を政治家として追及した山本氏の業績を賛美するだけでなく、各分野の参加者で考える企画になっている。
- エンターテイメントの中に重要なテーマが織り込まれていて観客に伝わるよう、構成されていた。
- 大切に重いテーマをこのようなプログラムでフォーラムを開催して下さったことに感動。
- 事実をありのままに、そして生きる事の大切さを感じることができた。演出のすばらしさ。よかったです。